

第9回 モーションコントロールの高機能化に関する協同研究委員会 議事録

日時：2016年12月11日(日) 13:00~13:15

場所：芝浦工業大学 芝浦キャンパス

弓場井, 浦川, 恵木, 大明, 小田井, 桂, 久保, 島田, 名取, 野崎, 望月, 矢代, 残間
(記録係)

【議題】 (13:00-13:30)

1. SAMCON 2017 について (弓場井委員長)

精密サーボ委員会 (伊藤委員長) と共同で IS および SS を企画

IS: Emerging Technologies in Motion Control

講演予定者:

Prof. Osamu Kaneko (University of Electro-Communications)

Dr. Thomas Beauduin (University of Tokyo)

Prof. Michael Ruderman (University of Agder)

Prof. Chowarit Mitsantisuk (Kasetsart University)

Prof. Sehoon Oh (Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology)

SS: Young Researchers in Motion Control

30代前半の若手研究者と博士課程在籍もしくは来年度進学予定の学生が対象, 研究室に条件に合致する有望な学生に積極的な投稿を進めて頂きたい.

2. 平成29年度部門大会シンポジウムの企画について (終了企画)

本委員会の成果報告の機会として, 来年度の部門大会 (函館) でのシンポジウムを企画することが説明された. こちらも投稿・発表のご協力をお願いしたい. 発表者は原則として本委員会委員.

3. 技術報告について (弓場井委員長)

本委員会において技術報告書を作成する. 近日中に章立ての案を作成し, 1/24の第10回委員会において最終案を確認する予定である. また, 柴田先生より ML を通して案内があったように, 本委員会とは別にもう一冊技術報告書を作成する必要がある. 基本的には当時, モーション委員会の委員であった方を中心に柴田先生より個別に原稿執筆の依頼を行う (10件程度). 両委員会から依頼されることもある. 4ページ.

4. 今後の活動について

第10回 1/24 慶應義塾大学.